

(別紙様式)

中山間ふるさと・水と土保全対策事業
中山間ふるさと・水と土保全推進事業

事業実施計画

計画期間：平成30年度～平成34年度

計画内容

1. 事業実施の基本方針
2. 事業実施の成果目標
3. 事業計画

秋田県

1. 事業実施の基本方針

現状と課題	<p><現状></p> <ul style="list-style-type: none"> 県内の農山村地域は少子高齢化、過疎化の進行が顕著で、地域コミュニティの低下や担い手不足などにより農地等の維持管理機能が低下し、耕作放棄地が増加している。(耕作放棄地の増加:7,411ha→9,530ha) ※【農林業センサス2010 → 2015】 農業所得及び農外所得が減少するなか、総農家数(59,971戸→49,048戸)、農業就業人口(71,805人→54,827)も減少し、農業就業者の高齢化(65.6歳→66.7歳)が進行している。 都市住民のニーズが多様化し、美しい自然や田園風景などが求められるとともに、農業体験の場や安全・安心な農作物等の提供など中山間地域への期待が高まっている。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 耕作放棄地の予防や農家の担い手不足等を解消に繋がるよう、中山間地域の農地の有効活用を促進する支援を行っていく必要がある。 里地里山は、美しい景観・歴史や文化の伝承など有形・無形の貴重な財産を多くの県民にもたらし、それを維持する地域づくり活動を支援していく必要がある。 今後増加が見込まれるインバウンド需要や旅行者のニーズの多様化に対応する受入態勢の整備や情報発信の強化が必要である。
事業実施の基本方針	<p>○秋田県の農林水産施策全体を網羅する基本計画「第3期ふるさと秋田農林水産ビジョン(H30～H33)」を元に、次に掲げるものを重点項目として実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 中山間地域ならではの地域資源を生かした「魅力ある里づくり」を促進するため、モデル地域の育成とそれらに取り組む地域のリーダーの育成を図る。 多様な資源を生かした地域ビジネスの展開を図るため、グリーン・ツーリズムの受入態勢整備や情報発信強化、農家レストランや農家民宿など多様なアグリビジネスの取組拡大を図る。 優れた農村景観や多様な地域資源を有する里地里山の保全継承に向け、県内外の企業や大学等との連携・協働による地域づくり活動を支援する。
計画後の目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> 中山間地域ならではの魅力を生かし、都市農村交流と食農環境教育の推進を図ることにより、地域に愛着と関心を持つ人が増えるような魅力ある里づくりを目指す。 里地里山を国民共有の財産として後世に引き継いでいくため「守りたい秋田の里地里山」を50地域以上認定する。

2. 事業実施の成果目標

事業区分	主な成果目標	数値目標	内容
調査研究事業	地域住民活動等の状況調査	・地域住民活動等の状況調査 1回/年	・農家民宿や観光農園等の利用者数や売上等を把握し、本県の都市農村交流の動向や来訪者の志向を把握し、今後の都市農村交流行政の施策に役立てる。
研修事業	ふる水指導員の育成	(1)指導員の市町村配置率 100%	指導員の人材発掘とスキルアップ及び、指導員間のネットワークを構築するため、県内研修や情報交換会等を開催する。
	ふる水基金研修の開催	(2)指導員等研修会開催 1回/年	全国水土里ネット主催のふる水基金全国研修会等への参加を支援する。
推進事業	多様な地域資源を生かした地域ビジネスの展開	ビジネスモデル地域の育成 1地区/年	中山間地域ならではの地域資源を生かした里づくりを応援するため、計画策定や地域活動の取組を支援。
	里地里山の保全管理	守りたい秋田の里地里山の認定 5地区/年	農村の美しい景観を維持管理し、地域資源等を活用した取組等を実施している地域を「守りたい秋田の里地里山」として認定し、地域内外に広くPRする。
	県内のグリーン・ツーリズムの推進	都市農村交流人口の拡大	GTの拠点地域を育成するため、受入環境整備や地域の魅力発掘等の支援する。また、情報発信等を通じて、県内のGTを総合的に支援。

3. 事業計画

事業区分	事業名	事業内容	目標年度 において達成 すべき状況	現況値		計画期間 における 必要事業 量	参考年度別事業量				
				～H29	うちH29		H30	H31	H32	H33	H34
調査研究事業	地域住民活動等の状況調査	住民活動、人材等の現状を把握するとともに、標準的な維持・保全に関する工法等を検討。 (都市農村交流実態調査など)	本県の都市農村交流の動向や来訪者の志向を把握		1回	5回	1回	1回	1回	1回	1回
研修事業	ふる水指導員の確保	土地改良施設や地域資源等の保全又は活用を図る活動のリーダー的人材を発掘確保し、指導員として委嘱する。	県内全市町村に指導員を配置	30人	0人	10人	2人	2人	2人	2人	2人
	ふる水基金全国研修会	指導員又は候補者等を全国研修会等へ派遣し、全国優良事例の情報共有やスキルアップを図る。	全指導員が全国研修を受講	76人	3人	10人	2人	2人	2人	2人	2人
	ふる水基金県内研修会	指導員又は候補者等を対象とした研修会を開催し、活動事例や情報交換によりスキルアップを図るとともに人材のネットワーク化を図る。	指導員間ネットワークの確立	13回	1回	5回	1回	1回	1回	1回	1回
推進事業	魅力ある秋田の里づくり総合支援事業	中山間地域ならではの地域資源を生かし「魅力ある里づくり」を目指す団体を支援する。	多様な地域資源を生かした地域ビジネスの展開	—	—	3地域	—	1地域	1地域	1地域	—
	ふるさと秋田応援事業	ふる水指導員など、地域が主体となった地域づくり活動を支援する。	里地里山の保全管理 都市農村交流の拡大	26地域	3地域	15地区	3地域	3地域	3地域	3地域	3地域
	守りたい秋田の里地里山50	農村の美しい景観を維持管理し、地域資源等を活用した取組等を実施している地域を「守りたい秋田の里地里山」として認定する。	里地里山の保全管理	32地域	8地域	20地域	5地域	5地域	5地域	5地域	—
	Cool Akita農泊推進事業	GTの拠点地域を育成するため、受入環境整備や地域の魅力発掘等の支援する。また、情報発信等を通じて、県内のGTを総合的に支援する。	グリーン・ツーリズム 拠点地域を育成 都市農村交流の拡大	—	—	2地域	—	1地域	—	1地域	—
	保全対策委員会	学識経験者等から事業の効果的な実施のための指導・助言等を得る委員会の開催。	効果的な事業展開	17回	1回	5回	1回	1回	1回	1回	1回
	普及啓発	農村の持つ多面的機能等について、フォトコンテストやパンフレット・ホームページの作成、各種イベント等への参加などにより、県内外にPRする。	県民への理解・認知	20回	1回	5回	1回	1回	1回	1回	1回
参考事業費				198,772千円	18,498千円	115,000千円	23,000千円	23,000千円	23,000千円	23,000千円	23,000千円